

＜ 報 告 事 項 ＞

I. 2019 年度 上期推進活動総括

上期における労金運動の推進は、現行中期経営計画のキーワードである「つなぐ」活動の深化に向けて、会員・推進機構と一体となった「ろうきん運動・取引拡大プロジェクト（つなぐプロジェクト）」と、連合の進める「クラシノソコアゲ」実現のために、可処分所得向上運動を中心に展開しました。

上述した運動項目に対する着実な推進活動により、各種計数項目は順調な成果を挙げていることから、下期の運動推進に繋がるよう、以下に上期の総括を提起します。

1. つなぐプロジェクト推進運動 ～会員自主目標推進運動の取組深化～

(1) 2019 年度上期の取組み

「つなぐプロジェクト」対象項目の新規実績は、年間目標 47,015 件に対し、上期実績が 30,730 件となり、大きな運動の成果となっています。

＜2019 年度上期実績＞ (単位：件、%)

年間目標	上期実績	達成率
46,070	30,730	66

＜項目ごとの実績＞ (単位：件、%)

N	項目	年間目標	上期実績	達成率
①	メイン化（給振・年金・公振・クレジット）	18,350	11,974	65
②	預金（財形・エース・お子さま口座）	8,311	5,389	64
③	融資（団体融資・手形貸付等除く）	17,379	12,260	70
④	預かり資産（個人型DC新規・投信契約者数・国債新	2,030	1,107	54
	合 計	46,070	30,730	66

(2) 会員自主目標推進運動の展開

① つなぐプロジェクトの取組基盤となる会員自主目標推進運動は、644 会員（前年同期比+44 会員）での運動展開となりました。

※会員自主目標設定会員数については、10 月 23 日時点の会員数。

② 自主目標に対する新規実績は、年間自主目標 22,490 件に対し、年間実績が 11,623 件となり、つなぐプロジェクトに繋がる運動展開が図られました。

設定会員数	年間目標	上期実績	達成率
644 会員	22,490 件	11,623 件	51%

2. 可処分所得向上運動の取組み

可処分所得向上額 10 億円を目標に、職域活動費を活用した学習会等による組合員への

周知活動、低利なカードローン（マイプラン）の保有・活用運動や奨学金、他行高金利ローンの借換運動を展開した結果、上期実績は488百万円（前年同期比▲7百万円）となりました。

3. 職域活動費の効果的な活用

- (1) 会員による職域活動費を活用した学習会は320回、延べ8,583名の出席となり、会員組合員との接点強化が図られました。
- (2) 主に、「新人説明会」「若年層説明会」「住宅ローン等商品説明会」「奨学金問題(借換)に関する学習会」を目的とした活用となりました。
- (3) 取組みの結果、職域活動費の活用金額は14,690,253円となりました。

4. 推進機構活性化運動の展開

(1) 運動の基盤強化

① 大会議案書への掲載

ろうきん運動基盤拡大に向け、「大会議案書へのろうきん運動方針化」「組合機関紙への商品・サービスの掲載」に取り組みました。結果として、「大会議案書へのろうきん運動方針化」は40会員、「組合機関紙への商品・サービスの掲載」は23会員となりました。

(2) 「労福協」「青年・女性委員会」との連携

① 職場推進委員会設置・活性化

職場推進委員会の設置・活性化の取組みは、連合構成組織に対し、労福協と連携した運動を展開しました。主に北教組・自治労・JP労組を中心に、推進委員会活動の定着化の取組みを行った結果、職場推進委員会設置数は442会員（前年同期比+13会員）となりました。

※職場推進委員会設置数は10月23日時点の会員数。

② 青年・女性委員会との連携

- ア. 連合青年委員会と連携し、10月5日に開催された「ニューリーダー研修」にて、可処分所得向上運動の取組項目を共有しました。
- イ. 連合女性委員会と連携し、6月1日に開催された「2019男女雇用機会均等法集会」にて、「ろうきんSDGs行動指針」や可処分所得向上運動に関する取組項目を共有しました。

(3) 各店・出張所推進委員会のさらなる活性化の取組み

各店・出張所推進委員会総会での「出席会員数の向上」に取り組む、総会出席会員数は、全店で790会員（前年同期比▲6会員）となりました。

5. 「2019年度 上期生活応援運動」の展開

(1) 生活設計運動の取組み

① お子さま口座保有運動

ろうきん運動を次世代に繋げる観点から、季節キャンペーンと連動した取組みを進めました。

お子さま口座新規実績 (2019 サマーキャンペーン実績)
【実績】 343 件 (前年同期比▲2 件)

② 退職金結集運動

「産別からの退職者情報提供 (8 産別)」「全開発・JP 労組・北教組における機関会議での取組方針化」「説明会・セミナー開催 (82 会員・1,294 名)」など、会員・推進機構による主体的な運動を展開しました。

退職金結集金額 (2019 年 9 月末日時点)
【運動目標】 93 億 11 百万円 【運動成果】 170 億 28 百万円 (目標対比+77 億 17 百万)

③ 季節キャンペーン結集運動

ろうきん運動の原点である夏季一時金の預入について、取組みを実施しました。

2019 サマーキャンペーン実績
【定期・エース預金新規預入】 19,208 件・81 億 56 百万円 (前年比+185 件・+9 億 58 百万円)

④ 資産形成運動

ア. 「2019 生涯取引キャンペーン」の展開

組合員の資産形成運動として、「2019 生涯取引キャンペーン」の周知活動を展開しました。

* キャンペーン対象商品: 「年金財形」または「iDeCo」の新規契約 (適用条件有)

2019 生涯取引キャンペーン新規件数 (2019 年 9 月末日時点)
財形新規件数: 3,566 件 / iDeCo 新規件数: 245 件

イ. 「投資信託・国債」の推進

学習会等を通して、組合員や退職者の多様なニーズに合致した資産形成の取組みを展開しました。

投資信託・国債新規件数 (2019 年 9 月末日時点)
投資信託新規件数: 1,014 件 / 国債新規件数: 445 件

(2) 生活改善運動の取組み

① 住宅ローン推進運動

「住きっと! 500」等の周知活動により、有担保ローン新規目標額を大きく上回る成果となりました。

有担保ローン新規目標額 (2019 年 9 月末日時点)
【目標】 407 億円 【実績】 460 億円 (目標対比+57 億円)

② 可処分所得向上運動

組合員の可処分所得向上に繋げる運動を展開しました。

可処分所得向上額（2019年9月末時点）
【実績】4億88百万円 【参考】2019年度目標 10億円

可処分所得向上運動に関する学習会開催実績（2019年9月末時点）
【実績】28件／1,007名

③ 非正規雇用組合員取引拡大運動

「全力応援 pack」の周知活動を行いました。

全力応援 pack（非正規勤労者向け融資商品）新規件数（2019年9月末時点）
【実績】432件（前年同期比▲93件）

④ 奨学金借換ローン周知運動

社会問題化している奨学金問題に対し、勤労者のセーフティネットとして、さらなる役割発揮をはかる観点から、積極的な周知活動を展開しました。

奨学金借換ローン新規実績（2019年9月末時点）
【実績】44件／1億2百万円（前年同期比▲53件・▲1億18百万円）
奨学金借換ローン累計実績（2019年9月末時点）
【実績】303件／7億37百万円（集計期間：2017年10月1日～2019年9月30日）

（3）生活防衛運動の取組み

① 多重債務防止運動（学習会・研修会の開催）

多重債務に関する学習会を開催するなかで、組合員の生活防衛に資する取組みを展開しました。

生活防衛運動に関する学習会開催回数（2019年9月末時点）
【開催回数】132件 【参加組合員数】3,569人

② 多重債務救済運動（相談機能の発揮）

「お客様相談室」「各店・出張所多重債務相談員」と連携し、多重債務に陥った組合員の相談対応を行いました。

多重債務相談（2019年9月末時点）
【多重債務相談件数】11件（前年同期比+2件）

6. 「ろうきん友の会」「北海道退職者連合」との連携

（1）本支店・出張所と連携した友の会加入者拡大の取組みを実施しました。

（2）北海道退職者連合と連携し、「年金口座移管運動」を展開した結果、労金での年金受取口座が49,633件（2019年9月末時点）となりました。

< 協議事項 >

I. 2019年度 下期推進活動方針（案）

上期末までの遂行状況をふまえ、つなぐプロジェクトを基軸とした「生活応援運動の重点運動項目」の展開や、下期より取扱開始となる「ろうきんアプリ」の周知活動を強化し利用者の利便性向上を図ることで、「ろうきんメインバンク No1 運動」をより深める取組みを展開します。

全道推進会議は、自主福祉運動の強化・発展という立場で連帯してきた会員・推進機構とともに、団結して運動の前進を図っていきます。

1. つなぐプロジェクト推進運動 ～会員自主目標推進運動の取組深化～

- (1) 上期末の進捗をふまえ、引き続き「2019年度つなぐプロジェクト×自主目標推進運動：推進シート」を活用し、自主目標達成に向けた取組みを強化します。
- (2) 2019年度の取組みに係る地元の NPO 法人等への寄付先については、本支店・出張所推進委員会における選定に向け、準備を進めます。

2. 可処分所得向上運動の取組み

職域活動費を効果的に活用した学習会等による「組合員への周知活動」を行い、「可処分所得向上額 10 億円以上」の達成を目指します。

3. 職域活動費の効果的な活用

引き続き、効果的な活用を図ります。

(1) 2019年度職域活動費
① 年度予算 3,000 万円
② 組合員 1 人当たり活用上限 2,000 円
(2) 効果的な活用に向けた対応
① 「つなぐプロジェクト」と連動した活用
② 「30 分以上の学習会」等を必須とした活用
③ 活用に見合った「運動プロセス・成果の見える化」

4. 推進機構活性化運動の展開

- (1) 職場に自主福祉運動としての「ろうきん運動」を浸透・定着させるため、引き続き、「職場推進委員会」「職場推進委員」の日常的な活動を強化していきます。
具体的には、推進機構活性化のため、以下の取組みを間断なく進めます。

2019年度 下期推進機構活性化運動
① 「大会議案書への掲載」「組合機関紙への商品・サービス掲載」
② 職場推進委員会の設置・活性化
③ パイロット推進委員会における取組みの継続（札幌西連合支店推進委員会）

5. 2019年度 下期生活応援運動の展開

2019年度下期の生活応援運動は、「生活設計」「生活改善」「生活防衛」の3本柱を基本に取組みをすすめます。特に、現役世代をつなぐ「奨学金借換ローン」の周知活動や、退職世代をつなぐ「退職金結集運動」を重点的に展開します。

(1) 生活設計運動の取組み

① 「2019 ウィンターキャンペーン」の取組み

11月より実施する「2019 ウィンターキャンペーン」について、ろうきん運動の原点である預金結集運動の展開とともに、次世代に繋げるための取組みである「お子さま口座新規開設運動」を積極的に推進します。

② 「退職金結集運動」の展開

ア. 組合役員による帯同オルグの実施

イ. 退職後の資産形成に関する学習会の開催（50歳台を対象とした取組みの強化）

(2) 生活改善運動の取組み

① 重点運動項目の継続推進

ア. 〈住宅ローン推進運動〉「住きっと！500」の周知活動

イ. 〈可処分所得向上運動〉マイプランを中心とした可処分所得向上の取組み

ウ. 〈非正規雇用組合員取引拡大運動〉全力応援 pack の推進

エ. 〈奨学金借換運動〉「奨学金借換ローン」の周知活動

② 各種商品・キャンペーンの推進（別添チラシ参照）

ア. 「奨学金に関する電話相談」への対応

北海道ライフサポートセンターが実施する「奨学金に関する電話相談（11月7日～11月9日）」において、労金職員も相談員として参加し、ライフサポートセンターと一体となった取組みを展開します。

イ. 「コープSDGs」キャンペーン

【対象Ⅰ】生協組合員

【推進商品】「コープマイプラン」「教育ローン（証貸・カード型）」
「奨学金借換ローン」「福祉型教育ローン」

【対象Ⅱ】契約・臨時・非常勤パートではたらく生協組合員限定

【推進商品】ローン全般

【キャンペーン内容】「コープさっぽろ専用電子マネー・ちょこっとカード」または「図書カード」をもれなくプレゼント

【実施時期】2019年10月1日（火）～2020年3月31日（火）

(3) 生活防衛運動の取組み

「各級推進機構における学習会・研修会の開催」を生活防衛運動の柱と位置付け、継続した取組みをすすめます。

また、多重債務に陥った組合員の相談体制は、「ろうきん・お客様相談室」「支店・出張所多重債務相談員」と連携し、適切に対応していきます。なお、「ろうきん・お客様

相談室」では、多重債務防止に関する学習会等の講師も引き受けていますので、必要に応じて積極的な活用を図ることとします。

ろうきん・お客様相談室（相談員 1 名常駐）	
<フリーダイヤル>	0 1 2 0 - 3 8 0 - 9 3 1
<住 所>	札幌市中央区北 4 条東 2 丁目 7 番地 6 住宅生協ビル 3 F

6. ブロック別研修会の開催

ろうきん運動の担い手となる若年層組合員を対象に、下記 2 ブロックにて開催します。

No	開催ブロック	開催地
1	空知（10/15）	岩見沢
2	道南（11/15）	函館

7. 「ろうきん友の会」「北海道退職者連合」との連携

ろうきんと会員組合員の生涯取引の確立に向け、各退職者組織に対する継続した取組みを求めます。特に、年金定期を中心とする預金の預け替えや、年金口座移管運動を推進します。

8. 「ろうきんアプリ」周知活動

- (1) 北海道ろうきんは、組合員の利便性向上に向け、10月22日から「ろうきんアプリ」の取扱いを開始します。
- (2) 「ろうきんアプリ」では、残高・入出金明細照会、かんたん通帳（Money Forward）、ろうきんホームページへのリンク、ろうきんからのお知らせの受信などが、スマートフォンの1つのアプリで利用できることから、組合員への周知活動を強化します。

9. 「ほっかいどう勤労者福祉資金融資」制度改定に伴う周知活動

- (1) 当該融資制度における非正規雇用労働者の対象条件に、「道内の民間事業所に勤務する方」という制限がありましたが、8月1日に本条件が撤廃され、「官公庁に勤務する公務員等」の非正規雇用労働者の方が利用可能となりました。
- (2) 当該融資制度の利用対象者が拡充されたことから、関連労組に協力を頂きながら、制度改定について周知活動を展開します。

10. 「北海道働き方改革推進企業 勤労者応援ローン」の新設

- (1) 北海道ろうきんは、国や道が進めている「働き方改革」に寄与すべく、「北海道働き方改革推進企業認定制度」で認定された企業の従業員を利用対象とした「北海道働き方改革推進企業 勤労者応援ローン」を新設します。
- (2) 北海道ろうきんは、PR手法として、当該融資と共にフルキャッシュバック、iDeCo、

マイプランをパッケージ化した取組みをろうきん本支店が展開します。

II. 役員の変更

全道推進会議役員について、組織の役員改選等により下記のとおり変更となりますので報告します。

役職	新任役員氏名	所属組織
幹事	長能 朋広	自治労北海道本部
幹事	三好 正基	J P 労組北海道地方本部
幹事	舟橋 祐亮	連合北海道胆振地区協議会

III. 今後の日程

開催日時（予定）	会議名	開催場所
2020年1月28日（火）15時	第4回全道推進会議	センチュリーロイヤルホテル
2020年4月23日（木）15時	2020年度全道推進会議総会	センチュリーロイヤルホテル

以上